



給食たより

令和6年度

さいたま市立針ヶ谷小学校

お子さんと一緒にご覧ください

あけましておめでとうございます。みなさんはどんな冬休みを過ごしましたか？今年も子どもたちが元気に過ごせるように、おいしい給食を作りますので、よろしく願いいたします。1月は全国学校給食週間があります。給食の歴史について紹介します。

学校給食のはじまり

日本の学校給食は明治22年に山形県鶴岡町の忠愛小学校からはじまったとされています。昔の給食は、貧しくて生活に困っている子どもたちを対象に無償に提供されたものでした。現在は、子どもの健康の保持増進を図ることや食育活動の一環として大切な役割を果たしています。



1月20日(月)～24日(金)は針小給食週間です！

針小給食週間は、針小の学校給食の献立を自分たちで考えることで「食の選択をする力」を高めたり、針小の給食をもっと好きになってもらったりするための1週間です。給食委員が針小を代表して、主食・主菜・副菜・デザートのリクエストを全校児童から集計をしました。それぞれ人気が一番高かったものをリクエスト給食として提供します。また、1年生から6年生まで、2種類の主菜から自分で選ぶセレクト給食も提供します。1月20日(月)の給食集会では、給食委員会が考えた世界の料理についての発表もあります。

1月24日(金)～30日(木)は全国学校給食週間です！

全国学校給食週間は、学校給食の意義や役割について理解を深めて、関心を高めるための1週間です。この期間には、昔の給食を再現した献立や、姉妹都市や埼玉県ゆかりの料理を給食風にアレンジした献立を提供します。

春の七草

1月7日(人日の節句)に七草がゆを食べる風習があります。1年間を無病息災で過ごせるように、疲れた胃腸を労り、ビタミンも補えるおかゆです。

消化を助けてくれるはたらきがあるため、体にいいはたらきがあります。給食では春の七草のすずな・すずしろや旬の野菜を入れた七草汁を提供しました。みんなとてもよく食べていて、残食がほぼなかったです！

